

## 第3学年2組 社会科学習指導案

日 時 平成25年11月22日(金)

在 籍 児 童 数 2 2 名

授 業 者 教 諭 小 葉 全 子

### 1 小单元名 「人形工場の仕事」

### 2 小单元について

#### (1) 教材観

本単元は、「小学校学習指導要領」第3学年社会科の以下の目標及び内容、内容の取扱いに基づいて設定する。

#### 〔目標〕

- (1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。
- (2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。
- (3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

#### 〔内容〕

- (2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。
  - ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。
  - イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

#### 〔内容の取扱い〕

- (2) 内容の(2)のイについては、次のとおり取り扱うものとする。
  - ア 「生産」については、農家、工場などの中から選択して取り上げること。
  - イ 「販売」については、商店を取り上げ、販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けて扱うようにすること。
  - ウ 「国内の他地域など」については、外国とのかかわりにも気付くよう配慮すること。

本単元における地域の生産活動については、鴻巣市と本校の立地環境の実態に応じ、身近な地域や市の人々の仕事の特色について、人形工場の仕事を取り上げることとする。ここでは、売上げを高めるための販売者の工夫は、商品の品質や価格等を考えて店や商品を選んで購入する消費者側の工夫と関連があることを、広告や商工会パンフレット、見学を通して気づかせたい。また、人形作りに必要な原材料の仕入れ先や生産物の販売先について、県や国の名称と位置を地図で確かめ、資料活用の経験を積みまけるとともに、自分の地域が他県や他国ともかかわりがあることに気づかせ、地域社会に対する誇りや愛情を育てる。

人形工場の取り上げ方については、人形作りの歴史的背景やその販路拡大の変遷、技の継承についておさえながら教材を分析する必要がある。ひな人形といえば、全国的に日常生活の中に行事として根付いているが、埼玉県内では、近世より、岩槻、越谷、所沢、鴻巣の4つの地域でひな人形作りが盛んであったという。鴻巣では、江戸時代初期に、京都より人形師が現人形町付近に定住し、人形作りの技が広まったと伝えられる。鴻巣の職人の着付けの技は秀でていたといわれる。一方、鴻巣の人形は、元来、桐のおが

くずを練り固めた練人形の「赤物」であり、江戸時代から大正時代にかけて、中山道を主要販路として、近隣の群馬、長野、栃木方面に販売の拡大がみられた。しかし、民間の間で経済的にひな人形を購入する余裕が生じると、「着付け雛」が「赤物」と並んで鴻巣人形の代表格となっていった。

鴻巣宿の雛製造戸数は、天保4年(1833年)には、「武州仲間」28軒のうち、半数を占め、明治初年には、越谷・岩槻が各2戸、岩槻1戸、鴻巣40戸であった。明治35年には、鴻巣では31名の人形師が存在し、人数は江戸時代より減ったが、なお他の地域に抜きんでて製造業者の数は多かった。現在、市内の人形店は、店と工場が合体したり、店のみあるいは製造のみであったりと、製造業者数も15軒に減少したが、ひな人形は、市の観光や町おこしのシンボルとして大きな存在を占めている。

学習問題追究の際には、人形作りの技と伝統が鴻巣市の文化やアイデンティティーの存立に大きな基盤を築き、ひな人形生産をどのように支えているのかという側面も考える必要がある。市のひな人形作りの技や知恵、工夫を追究することは、児童にとって、地域を知るだけでなく、社会的なものの見方や考え方をより深化させるための地域教材としても価値がある。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、非常に活発で好奇心旺盛である。休み時間には、ほぼ全員が校庭で遊びに夢中になる一方で、生き物探しや、校庭に古くから存在する建造物や植物等の分布・由来などに関心を示している。遊びや観察で気づいたことを係活動や教科学習の中で活かし、新聞記事やポスターにして互いに発信し合っていて楽しむ姿がみられる。全体としては、物事への考え方や見方、取り組み方が多様で、ほぼどの教科においても、学級全体の共通課題を一丸となって追究していることが多い。

社会科においても、2学期以降、3年生としての学習の仕方に慣れ始め、他教科で得た学習経験を活用させ、ノート記述やグループ発表の仕方が少しずつできるようになってきている。一つの写真や地図、社会的事象に対して、様々な視点から活発に意見を述べる姿がみられる。社会科学習についての意識調査を行ったところ、次のような回答が得られた。(平成25年10月28日現在、本学級児童対象)

1 社会科の学習がすきか。 すき(21人) きらい(1人)

(1)「すき」と答えた児童の理由  
(複数回答可)

理由	(人)
①学校や諸施設での体験・作業	20
②いろいろなことがわかるから	18
③見学が楽しい・勉強になる	15
④地域の人と体験したいから	13
⑤社会科資料室で学びたい・収蔵資料を学びたい	13
⑥DVD等の映像がわかりやすい	10

(2)「きらい」と答えた児童の理由

理由	(人)
①調べることが多すぎる	1
②ノートへ書くことが苦手	1

一方で、同児童は、3(1)にて、インターネットやDVDによる映像による調べ方は興味があるとされている。

※6月実施の意識調査では、「すき」が19人、「きらい」が3人で、ほぼ同じ理由である。

2 意見や考えの出し方で行いたいものは何か

(1)学習形態

(複数回答可)

形態	(人)
①個人で記述・発表	1
②グループで意見交流	16
③全体で一斉に	7

(2)左記選択の理由

(複数回答可)

	理由	(人)
①	個人のリズムで進められる	1
②	分担して効率的に発表できる	16
	より多くの事柄が調べられる	12
③	ほっとする	1
	自分の意見が伝わりにくい (左記7人以外)	11

3 社会科学習のどんな調べ方・まとめ方に興味があるか。

(1)調べ方 (主要なもの)

(複数回答可)

理由	(人)
①インターネット	21
②学校や諸施設での体験・作業 (見学を含める)	20
③図書資料から	4

(2)まとめ方 (主要なもの)

(複数回答可)

理由	(人)
①大型テレビに作品を映し出し、 言葉で説明	18
②紙しばい	18
③コンピュータで発表作品を作り、 大型カメラに映して説明	16
④新聞	4

4 鴻巣市産業観光館「ひなの里」見学以前における人形に対する知識について (5月)

◎人形を知っていたか。 22人 (全員)

(複数回答可)

理由	(人)
①家で飾るから	14
②5月の節句の関係で知っている	11
③3月と5月の両方に飾る	10
④鴻巣市のひな人形を知っている	7

5 「ひなの里」見学後における人形に対する興味・イメージ等について

(複数回答可)

理由	(人)
①人形についてもっと調べたい	14
②興味がわいた	12
③新たな疑問がたくさんわいた	10
④いろいろな種類の人形に驚いた	4
⑤上下ひなに興味があった	1

6 「ひなの里」のイメージについて

(複数回答可)

理由	(人)	理由	(人)
①観光や市のアピールによい	19	④人形作りの職人の技を見たい	14
②市民として、歴史がわかる	16	⑤新たな疑問がたくさんわいた	10
③市以外の人にも歴史がわかる	16	⑥館内が和風で気に入った	10

以上から、社会科の学習好感度については、ほぼ9割が社会科を「好き」と答え、体験的作業的学習の楽しさや、新しく物事を知ることの知的欲求をその社会科学習が満たしていること等を主な理由としている。社会科に苦手意識を感じる児童は、インターネットや映像で調べることは好きだが、ノート記述は億劫という傾向がみられた。しかし、グループや学級全体で事象や課題を探究したり、互いの考えを発表し合ったりして、資料活用力や思考力を高めることは好きであるということが明らかになった。

(3) 指導観

本校の社会科指導の現状と課題については、学校経営方針及び学力向上における重点的なねらいを受け、基礎的基本的な内容の習得や、それらを生かした思考力・判断力・表現力の育成を重視している。特に、社会科学力向上プランにおける授業づくりのポイントでは、体験的な学習や問題解決的な学習をより一層

充実させることと、言語活動を充実させることを関連させ、思考力・判断力・表現力の向上を期している。

これを踏まえ、全学年を通して、昨年度より改善した点は、以下のとおりである。

- ① ボランティアティーチャー等による地域情報や地域教材の活用を通じた興味関心の喚起
- ② 体験的活動を通して試行錯誤する過程における問題解決力の向上
- ③ 社会科の言語活動としての「読み取り・解釈・説明・論述・討論」(cf. 総合教育センター「平成21・22年度 言語活動の充実を図る学習指導の在り方」研究)を行う場を学習過程上に意図的に設定することを通じた言語環境の整備

しかし、「読み取り」「解釈」「説明」「論述」「討論」という5つの視点に基づいた言語活動の充実については、全学年を通して、未だ改善の必要性があるのが現状である。

本単元では、特に、児童の実態を踏まえ、思考力・判断力・表現力をはぐくむ観点から、以下をねらいとする指導法を検証した。

- ① 資料活用と体験活動を交互に反復させる学習過程を構成し、個や集団の考えや知識を深化させる。
- ② 鴻巣市固有の伝統文化やこれからの鴻巣市の人形作りについて、協働的な言語活動の形態や場の設定を通して、思考力・判断力・表現力の質を高める。

以上から、「つかむ」「調べる」「生かす(表現する)」の単元の学習過程を言語活動の充実との関連づけ、次のようにした。(□は体験活動にかかわるもの)

- 「つかむ」過程・・1・2時  
学習問題の設定・学習計画の設定<個→集団交流へ> {読み取り・解釈・説明}
- 「調べる」過程・・3～9時  
探究活動<個→集団交流→個→集団への反復的交流> {討論}  
・人形工場□見学・資料調査による知識や考えの補足・修正  
{読み取り・解釈・説明}・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6時間  
・知識や考えの整理 {解釈・説明・論述}・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- 「生かす」過程・・9～11時  
・文章化(案内パンフレット作成)による学習の発表・まとめ(結論)  
{読み取り・解釈・説明・論述・討論}  
・人形頭師からの聞き取りと実演見学による問い・発表・知識の修正  
<個(小集団)から全体での交流へ>

さらに、学習過程を効果的にするために、以下のような手立てを設定する。

**【主な手立てと期待する効果】**

- ① 写真(映像)資料等の加工・活用による思考活動の焦点化
  - a. メディア・コンプレックス型提示を通じた資料提示の精選による、発問や思考する時間・内容の質の向上
  - b. 提示資料の加工や拡大・焦点化による、観察力の向上
  - c. ガイダンス型、問題解決型の指導の可能性
- ② 体験の連続性による思考や認識のずれの修正
  - a. 言葉や概念を記号や短文、単語等によって記号や絵図等に表す方法の実践
  - b. 意見交流による協働的な言語活動の形態や場の設定の工夫
  - c. 国語科の「書くこと」の活動との連携による、根拠と考えの区別による明確な結論づけ(資料や説明等の中から問題解決のために適切な事柄を見つけだそうとし、自分なりに考え、判断することができる。)
  - d. 数回の見学や聞き取り(人形工場、人形の頭師の実演)による、予想の修正と事実確認

このように、同時に複数の資料を活用する場合、視点を絞ってICT資料と他の様々な資料を比較する経験を蓄積させ、新たな知識や問いを発見しやすくさせる。自分達の知識や考え、問いを高め合う場を設定していきたい。

①については、見学の事前事後に写真資料を反復的に活用し、資料の中に発見する様々な事象を関連づけながら、グループや全体の問題解決に迫らせたい。また、「着付け雛」（ひな人形として一般に指す人形）や、「赤物」の鮮やかな色彩や模様等の造形美や、職人や販売者の表情等に気づかせ、伝統文化を継承するという意味でも、市の手工業として産業が成り立っているという点に気づかせたい。さらに、②については、ノートや見学記録シート等、各種学習カードを用途に応じて効果的に活用し、わかったことや考えたことについて、常に根拠や予想をもって相手に説明することができるようにする。論理的に事実や意見、考えを述べると同時に、視点を明らかにしながら資料を活用する場面も設定できるよう留意したい。他教科・領域における学習経験を相乗的に生かし、問題解決の在り方に発展性・持続性をもたせたい。

### 3 小単元の目標と評価規準

○地域には工業製品の生産にかかわる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などのかかわりなどを理解するとともに、工場の仕事と自分たちの生活とのかかわりを考えようとする。

○地域の工場の仕事の様子から学習問題を見だし、見学・調査したり、資料を活用するなどして具体的に調べてわかったことを白地図や作品にまとめるとともに、工場の仕事と自分たちの生活とのつながりについて考えたことを適切に表現する。

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象について の知識・理解
・人形工場の仕事に関心をもち、意欲的に調べることを通して、地域社会の一員としての自覚をもとうとしている。	・人形工場の生産活動は、伝統を生かしながら営まれていることや、原料の入手や生産品の販売等で工夫がなされていることを考えている。	・人形の材料や作り方、店の人の工夫や努力等を、観点にもとづいて見学したり資料を活用したりして必要な情報を集め、わかったことを工夫してまとめている。	・人形工場の仕事や店の人の工夫や努力、他地域との関わり等を理解することができる。

### 4 小単元の指導計画と評価計画（11時間扱い）

過程	学習活動・学習内容 ○は時数	・指導上の留意点 □評価の観点 ◎言語活動の充実を図る工夫 {視点}	主な資料
つかむ	①② 人形づくりの写真や「ひなの里」見学時の資料を通して調べたいことや問題点等を整理し、単元全体の学習問題を立てる。 ・「ひなの里」見学時の写真・記録用紙（しおり）確認 ・市商工会・観光課等発行パンフレット読み取り ・調べたいこと・疑問点等の整理（材料、作り方、歴史、販売者・生	◎調べたいこと・疑問点等を個々に短冊に書き、黒板上に貼り、全体で内容を確認できるようにする。 {読み取り・解釈・説明} ◎短冊に書いた事柄をカテゴリ毎に学級全体でウェビング・KJ法の支援により整理し、学習全体にかかわる問題を作りにつなげる。 {読み取り・解釈・説明} ・課題別にグループを編成させ、調査・見学時の行動班にさせる。 ◎個の思いや意見をノートに記入させ、意見交流時の根拠とさせる。 {解釈・説明}	短冊カード（個別） 模造紙 鴻巣市地図（人形町所在地がつかめるもの） 副読本の写真パンフレット ポスター・広告・市の広報 「赤物」・「享保雛」等の人形実物数点 ひな人形についての教師作成コンテンツ（ICT）

	<p>産者・消費者の様子、広報等) ・全体・グループ毎の調査の視点づくり</p>	<p>② <b>思</b>人形の写真や材料等から、調べることを考えている。 【発言・ノート・短冊】</p>	<p>「ひなの里」見学時写真資料 (ICT)</p>
<p>人形作りをつたえる人々のねがいやくふうを調べよう。</p>			
<p>調べる  学</p>	<p>③ 人形工場の仕事について調べる計画を立てる。 ・調べ方・学習計画の決定 ・学習形態 (個人・グループ)、資料閲覧、見学 日程、学習の進め方・まとめ方 等。 ・参考とする資料の確認 ・人形の時代別種類、材料等、グループ別に調べる内容の事前確認</p>	<p>・調べ方やまとめ方について助言する。 ◎全体で作成したウェビングマップをもとに、グループ毎に観点を決めて調べさせる。{読み取り・解釈} ◎見学事前に、調べたいことや既にわかっていることを区別させ、大まかな知識を「ひなの里」での経験や教科書・パンフレットでおさえておくようにし、多角的多面的な見方で見学の際の質問や観察ができるようにする。 {読み取り・解釈} <b>関</b>人形工場の人々の仕事に関心をもち、調べたいことや調べるための計画を考えようとしている。 【発言・学習シート・ノート】</p>	<p>計画表 観光パンフレット 1学期社会科見学のしおり (「ひなの里」調査の頁) 「ひなの里」館内展示物・見学時写真 (ICT) 副読本写真・図・年表 (人形の種類・材料等) 個別学習シート グループ別学習シート ウェビングマップ</p>
<p><b>【グループ毎の追究例 一全5グループ】</b> ※以下、「市」とは、鴻巣市のこと。 ※1～5班は、仮のグループ名とする。</p> <p>1班 ひな人形のかざり方・行事・習慣等 2班 市の人形作りの歴史・人形の種類 3班 市のひな人形の材料や販売 4班 市のひな人形作りをする人々 5班 現在の市とひな人形の関係</p>			
<p>④ 見学時の調査事項や予想する回答について、グループ毎に発表して交流する。 ・調査事項 (視点) ・予想する回答と根拠</p> <p>⑤⑥ 人形工場を見学し、調べたいことを追究する。 <b>【見学時】</b> ・工場の方からの説明 ・見学・質問</p>	<p>◎見学時の調査事項や、予想する回答についてグループ間で共通理解しておくことが、見学後のグループ間の発表で新たな知識や考えを効果的に補うための必要な学習方法であることを知らせる。 <b>思</b>人形作りについて調べるための方法を探そうとしている。 【発言・学習シート】</p> <p>・部品を作る際の苦労や工夫について想像させるようにする。 ・様々な部品を実際に見て、手作業で丁寧に行っていることに気づくようにする。 ◎地図資料や VTR から、人形店の分布や人形の種類についての必要な情報を読み取り、知識を補足する支援をする。 {解釈・説明} ・帰校後、見学の時にいただいたパンフレットにより内容を補足し、学習を深めるようにする。</p>	<p>グループ別学習シート ウェビングマップ</p> <p>個別学習シート グループ別学習シート 明治末期と現在の人形店分布地図資料 「着付け雛」等実物資料数点 VTR「赤物」 人形店・ひなの里にかかわる写真資</p>	

**【調査事項と関連グループ】**

	予定される見学時の説明・内容	主な関連グループ
①	市の人形作りの歴史・現在の販売の様子	全班
②	ひな人形にかかわる主ないわれや行事	1・2・5班
③	人形作りの材料と材料の確保	2・3・4班
④	人形作りの工程	2・3・4班
⑤	働く人々と仕事内容の分担	3・4・5班
⑥	職人の研修・販売先について	全班

料 (印刷資料・ICT資料)  
 人形製作・販売関係パンフレット・広告  
 インターネットによる他地域ひな人形にかかわる行事案内 (茨城県・新潟県・長野県・千葉県等)  
 ヒントカード (グループ別追跡調査用・まとめ用)

**【見学終了後】**

- ・資料等による調査事項及び問いの補足修正 [グループ内]
- ・人形町における人形店の数・種類の変遷 [全体]
- ・作業工程の再確認 [全体]
- ・個の感想 (印象等) 交流 [全体・グループ内]

- ⑦⑧ 見学や調査を通してわかったことをまとめる。  
 ・知ったこと・確認したことのまとめ [グループ別]

**思** 作業の様子や店の方からの話から、人形作りの伝統やすばらしさ、苦労や工夫等について気づいている。 【行動観察・学習シート】

**技** 人形の作り方や販売の仕方、人形作りの歴史や行事に等について調べている。 【行動観察・学習シート】

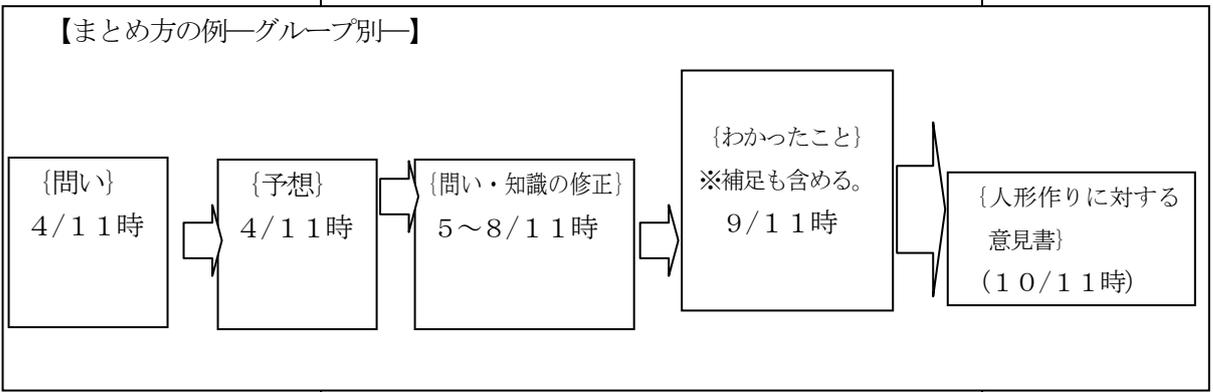
**知** 人形作りについて、働いている方から話を聞いたり、作業工程や展示の品物を見たりして理解している。 【行動観察・学習シート】

◎新たに生じた疑問や調べたこと等について、資料を活用しながら学習シートにまとめるように助言する。 {解釈・説明・論述}

・個人の見方・考え方は、個の思いを大切にさせる意味からグループ内で交流させるようにする。

**思**・**技** 学習シートへのまとめを通して、人形作りについて、わかったことや疑問点等を確認し合っている。 【行動観察・学習シート】

大判ケント紙  
 ペン  
 シナリオ用学習シート



- ⑨ **〈本時〉** 人形作りについて、わかったことをグループ毎に発表し、グループ毎の内容や考え方を

◎根拠に基づいて知識や考えを整理させるようにする。 {解釈・説明}

◎前時でまとめた修正した知識等をグループ毎に提示発表させ、学習の学びの経過を全体で共有させる。 {読み取り・解釈・説明}

シナリオ用学習シート  
 提示用学習シート  
 提示用写真・地図等資料

	<p>比較関連する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎の発表 [グループ]</li> <li>・グループ別内容の比較 関連・気づいたことの 発表[個人・グループ]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ別発表の後、グループ別内容の比較関連や 感想、まとめをする際には、話型を紹介・確認させ、 思考や知識が高まるようにする。</li> </ul> <p><b>思・技</b>人形作りについてわかったことや考えたことを、資 料を活用しながら発表している。 【発言内容・提示資料内容】</p>	<p>グループ別内容の 比較関連発表時話 型例</p>
	<p><b>【グループ別内容の比較関連発表時の話型例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇班と〇〇班の発表（見方・考え）の△△という部分が似ているので、～ということがいえる と思います。</li> <li>・△△は、□□だから、～ということがわかります。</li> <li>・〇〇班から、～ということがわかりました（気づきました）。 等。</li> </ul>		
生 か す	<p>⑩ 前時の新たな内容や見方を もとに、市のひな人形作り についての案内パンフレ ットにまとめ、学習問題に せまる。 [個人・グループ]</p>	<p>◎市のひな人形作りについての案内パンフレットは、伝統や 技の踏襲、町おこしの関連から、身の回りの人々（家族・ 地域）への案内パンフレットとしてグループ毎にまとめさ せる。</p> <p><b>技</b>調べてきたことや考えたことをもとに案内パンフレット を作成している。 【行動観察・パンフレット】</p> <p><b>知</b>案内パンフレットを作成して、人形作りの人々のねがいや くふうを知ろうとしている。 【行動観察・パンフレット】</p>	<p>学習シート（パン フレットの下書 き・シナリオ用） パンフレット用用 紙・カラーペン・ 写真等</p>
	<p>⑪ ≪発展学習≫頭師の実演や 工夫、努力を見聞したり、 市のひな人形作りについ ての考えをグループ毎に 伝えたりして、地域の職 人と交流する。</p>	<p>◎頭師に案内パンフレットを伝え、意見をいただくことを通 して、人形作りを通した伝統文化の継承と市の観光の発展 等を考える手がかりにさせる。 【解釈・説明・討論】</p> <p>◎他教科・領域の学習や日常生活に生かそうとする気持ちを 育む。 【討論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに生じた疑問や確認したいことを頭師に教えて いただき、今後も学習や生活の中で調べていくよう に助言する。</li> </ul> <p><b>思</b>頭師の実や頭師の話から、人形作りの伝統や技の すばらしさ、苦労や工夫等について気づきながら聞 いている。 【行動観察・学習シート】</p>	<p>学習シート（パン フレットのシナリ オ用） 完成したパンフレ ット</p>

5 本時の学習指導（9／11）

（1） 本時の目標

人形作りについてわかったことや考えたことを、資料を活用しながら発表している。

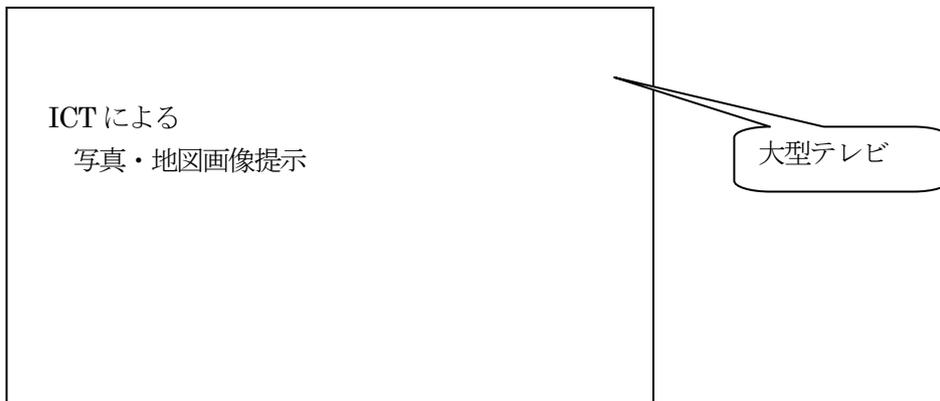
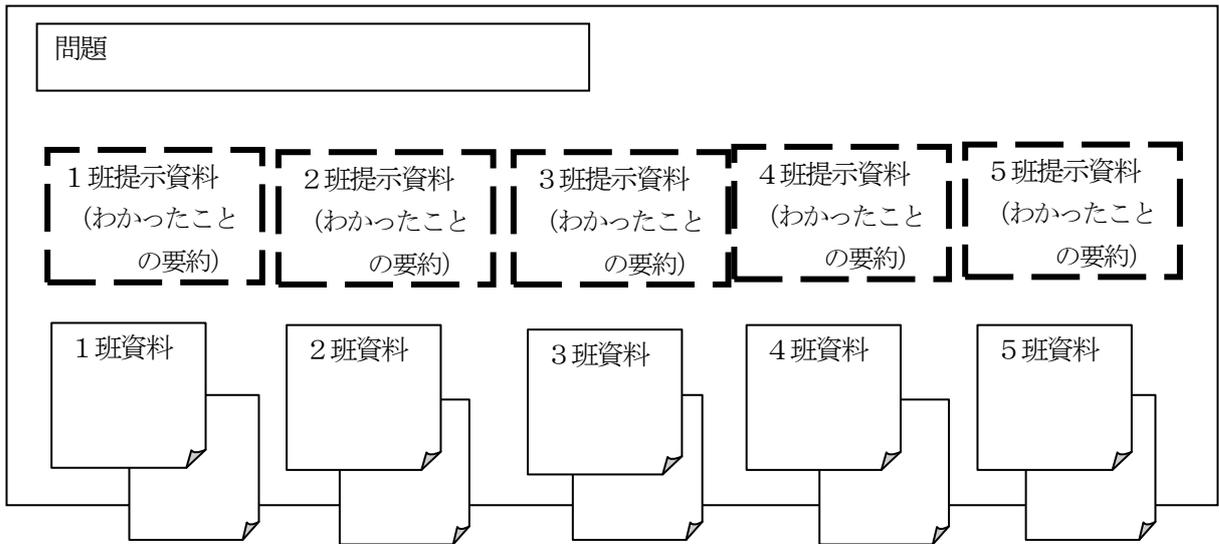
【思考・判断・表現】 【技能】

(2) 展開

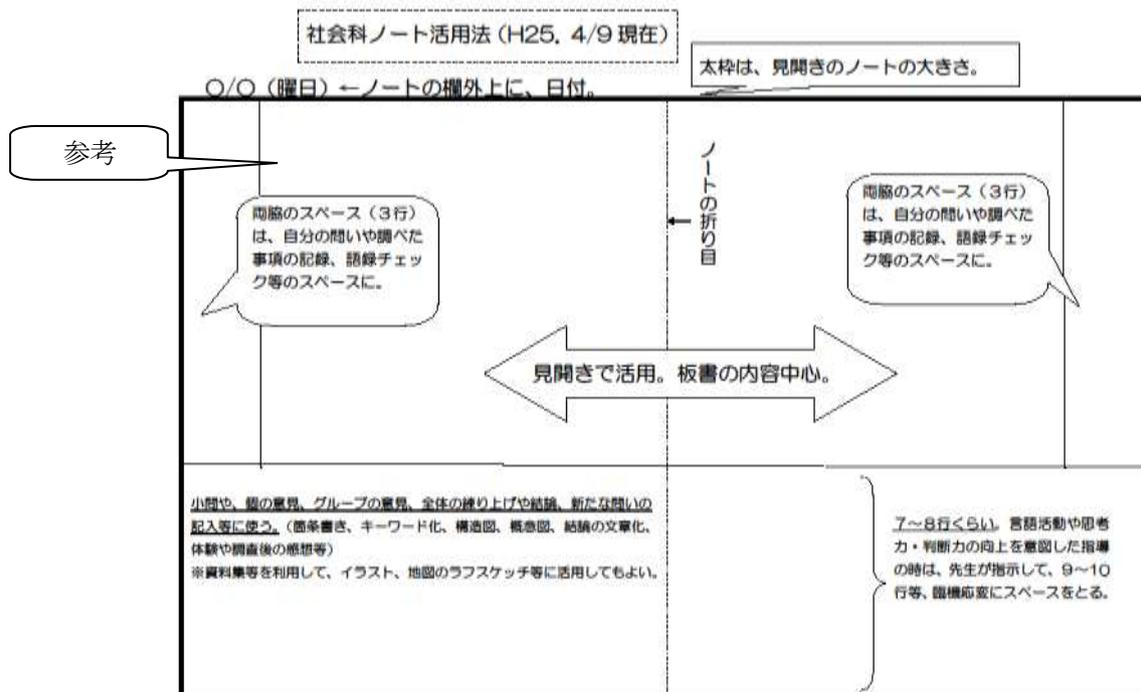
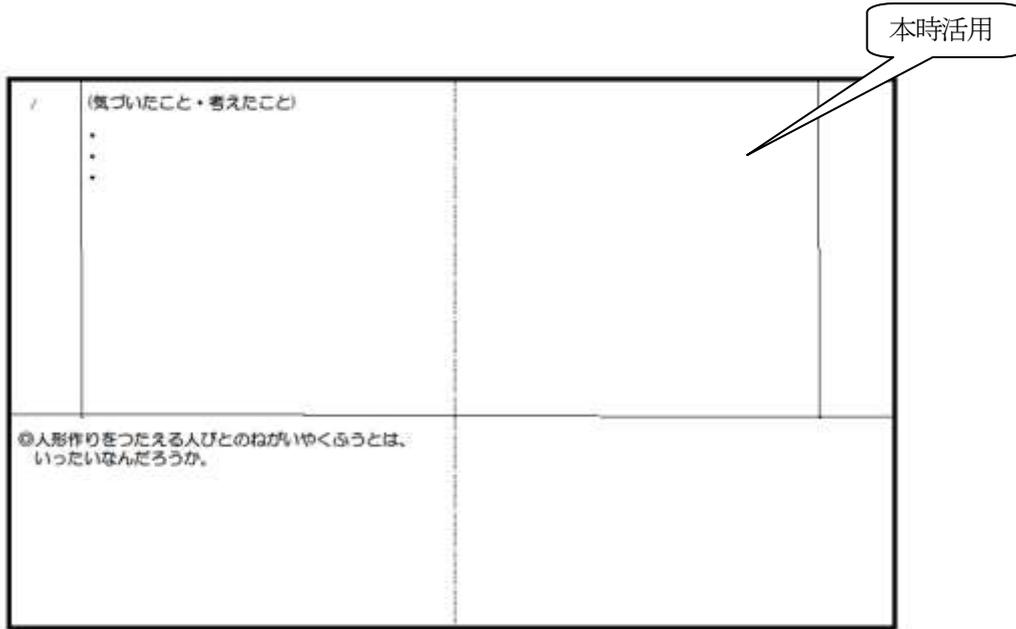
学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価の観点 ◎言語活動の充実を図る工夫〔視点〕	資料
1 本時の課題を確認する。 〔グループ・全体〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習内容の想起</li> <li>・グループ別提示資料の確認</li> <li>・発表進行方法の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時でまとめた知識や考え等をグループ毎に提示発表するための手順を簡潔に確認させる。</li> </ul>	提示用学習シート 大型テレビ (ICT活用) グループで必要な補足資料 (写真・図・絵等) 話型資料
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>{本時の問題}</p> <p>このす市の人形作りについてわかったことを発表しよう。</p> </div>			
2 見学や調べたことを通して、人形作りについてわかったことを発表する。〔グループ毎〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひな人形のかざり方・行事・習慣等</li> <li>・市のひな人形の材料や販売</li> <li>・市のひな人形作りをする人々</li> <li>・市の人形づくりの歴史</li> <li>・現在の市とひな人形の関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎前時でまとめた修正した知識等をグループ毎に提示発表させ、学習の学びの変容を全体で共有させる。 〔読み取り・解釈・説明〕</li> </ul>	
3 グループの発表をもとに、人形作りについて考えたことや気づいたことを交流する。〔全体〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人形作りの知識の整理</li> <li>・市のまちづくりや伝統産業継承等の視点からの感想交流</li> <li>・感想発表の話型の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ別発表の後、グループ別内容の比較関連や感想、まとめをする際には、話型を紹介・確認させ、思考や知識が高まるようにする。</li> <li>◎他のグループの見方や考え方・知識との類似点はないかどうかを根拠に基づいて見つけるようにする。 〔読み取り・解釈〕</li> <li>・次時につながるよう、単元全体の問題にも触れながら、人形作りの人々の願いや工夫という視点からも考えや感想が伝えられるようにさせる。</li> <li>☑人形作りについてわかったことや考えたことを、資料を活用しながら発表している。 【発言内容・提示資料内容】</li> </ul>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【グループ別内容の比較関連発表時の話型例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇班と〇〇班の発表（見方・考え）の△△という部分が似ているので、～ということがいえると思います。</li> <li>・△△は、□□だから、～ということがわかります。</li> <li>・〇〇班から、～ということがわかりました（気づきました。）。</li> </ul> </div>			
4 次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人形作りの案内パンフレット作りの確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習が次時の案内パンフレットの内容の基盤となっていくことを伝える。</li> </ul>	

## 6 資料

### (1) 板書計画



(2) ノート記述



7 参考文献

- ・谷 謙二・飯田貴美子 2006 『埼玉県営業便覧』の資料的特性と明治期の埼玉県における中心地の機能と分布. 埼玉大学教育学部地理学研究報告, 26, 1-39.
- ・高橋 一郎 1957. 『復刻埼玉県営業便覧』 埼玉新聞社出版局
- ・埼玉県立民俗文化センター 1988. 『埼玉の雛人形』 埼玉県民俗工芸調査報告書 第6集